

県南地域のパイオニア



ビジネスチャンス拡大を目指し、入居した起業家たち

中心市街地の空き店舗
対策と併せ、IT(情報
技術)を活用した起業家
の育成を図ろうと、昨年
三月、土浦市川口一丁目
のショッピングモール・
モール505一階にオー
プンした「SOHOつち
うら」。三十代から四十

「SOHOつちうら」の起業家たち

「IT起業の梁(りょう)山泊」

ビジネスチャンスを拡大

代の起業家たちが入居
拡大を目指している。
し、ビジネスチャンスの
SOHOつちうらは、

百十一平方メートルのスペース
に市が、高速通信が可能
行う。

市民に情報提供する情報
コーナーを設けた。
入居期間は二年間で、
入居費用は月額二万円。
運営は土浦商工会議所が
行う。

関係が広がり、これから
が楽しみ。経済情勢が厳
しいので、経理などのコ
ンピューター管理は有効
な方法として認知が広が
っている」と話す。

ら中国への投資が主だっ
たが、人脈を生かし中国
から日本への投資を開拓
したい」という。
「オリコン」は官公庁
や自治体のシステム構
築、運用支援などを目指
す。折田藤男さん(四七)は
二月をめどに五人前後の
スタッフを雇い、事務所
を開設する予定だ。

伊藤奈津子さん(三〇)と
野上留美さん(三三)の「ワ
ールド翻訳サービス」は
英語、仏語、中国語、韓
国語など幅広い翻訳業務
を請け負う。「市が設立
した施設に入居している
ことで、信用度が増し、
実績も増えた」と伊藤さ
ん。つくば市のシステム
開発会社と共同で、研究
論文の翻訳依頼者が専門
用語の訳語をホームページ
上で登録できるシステ
ムも開発した。

な光ファイバーケーブル
などを備えた一区画六平
方メートルの入居用施設六区画
と、入居者が交流や商談
するサポートスペース、

総務・経理といった事
務処理やビジネス研修、
パソコンスクールなどを
運営する「総務部」の井
坂圭一さん(四九)は「交友

グルメやイベント情報
などを発信する土浦総合
案内サイト「つちうらネ
ットプレス」の高橋仁美
さん(四七)は私立高教諭か
ら転身。昨年九月から中
国茶や茶器のネット販売
も始めた。二月末にはモ
ール505内に中国茶の
喫茶店を開店予定。茶器
も販売するほか、土日に
は演奏会や四柱推命占い
などを行い、「ここにし
かない店を目指す」。

ITと環境をテーマと
する「電脳郷」の河合通
之さん(四七)は「とにかく
全力で駆け抜けるだけ」
と話す。スタッフ十四人
を抱え、携帯電話から自
宅に据え付けた防犯カメ
ラの映像を確認できるホ
ームセキュリティ機能
を開発する一方、竹炭を
活用した工業技術にも取
り組んでいる。



土浦市川口一丁目のモール505内の「SO
HOつちうら」。もともとは空き店舗だった

「これまででは日本か
り組んでいる。」